

第8回 やるばい長崎下水道場 ～夜景に負けない若手の輝き～

○日時：令和6年11月20日（水） 14:00～17:00

○場所：長崎県庁

○対象：長崎県内下水道若手（概ね40歳以下）職員

○参加：長崎県内9市町 17名



講義

1. 汚水処理施設について

下水道の役割、県内の下水道事業の取組といった下水道事業だけでなく、県内の汚水処理人口普及率や汚水処理構想の見直しなど、下水道以外も含めた汚水処理行政全体の説明を行いました。



2. 九州地方の浸水被害と対策について

国土交通省九州地方整備局より、九州地方における近年の浸水被害状況、その対策事例、国の補助金制度などについて、ご説明いただきました。

また、降雨に伴う被害報告は、迅速な対応が必要であることを学びました。



3. 次世代型高品位グラウンドマンホールとは

次世代型高品位グラウンドマンホール協会より、マンホール蓋の事故、次世代型高品位グラウンドマンホールについて、ご説明いただきました。

マンホールの事故の9割はマンホール蓋の事故によるもので、その原因の中で「豪雨時の内圧による蓋の飛散」が急激に増加しているとのことが分かりました。



訓練

1. マンホール蓋開閉訓練

マンホール蓋は時代とともに進化しているため、複数のタイプの開閉訓練を行いました。

マンホール蓋が新しいものになるにつれ、マンホールの安全性を重視した造りになっている反面、蓋の開閉が難しくなっていると感じました。



2. マンホールトイレ設置訓練

長崎市の協力により、マンホールトイレ設置訓練を行いました。マンホールトイレは地震などの災害時において迅速にトイレ機能を確保するためのものです。

マンホールトイレの組み立ては、参加者のほとんどが初めての経験でとても時間がかかってしまいました。

